

おきたま旬の食材情報

「アスパラガス物語」

アスパラガスは春を代表する野菜ですが、実は山形県の置賜地域も大産地になっています。中でも飯豊町は古くから続く県内有数の産地で、近年は置賜全域に栽培が広がっています。

さて、最近は夏から秋にかけてもこの地元産のアスパラガスが出荷されているのをご存知でしょうか？アスパラガスは、ここ10年の間に、栽培技術が大きく変わってきており、今回はそんなアスパラガスについて特集します。

【春どり栽培 ～一般的な栽培方法～】

アスパラガスは、種をまいてから収穫できるようになるまで3年程度かかりますが、一度植えると長年に渡って収穫を続けることができます。一般的には、春に萌芽してくる若茎を30cm程度で収穫し、5月上旬から6

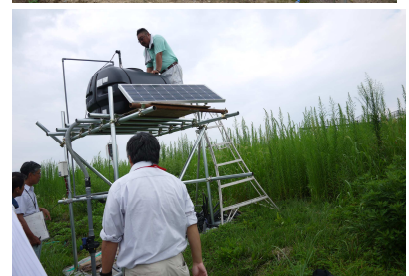


月末頃まで約2カ月間収穫を続けます。その後は放任栽培となりますが、アスパラガスの生命力はものすごく、一つの株から百本を超える茎が株立ちするため、畑はすっぼりと繁茂した茎葉で覆い尽くされて誰一人中に入れない状態になります。和名の「オランダキジカクシ」というのは、こういう状況をいうのかもしれませんが。暖かい地域では特に生育が旺盛なことから、ここに病気や害虫が蔓延しやすく、数年で収穫できなくなることがあり、北海道や飯豊町、小国町のような比較的冷涼な地域が産地として残ってきました。

【夏秋どり栽培 ～ニューウエーブ～】

上述したように、アスパラガスの収穫をやめて放任すると、その後も次々と茎が発生して圃場が過繁茂状態になってしまいます。大敵である茎枯病を予防するため、一部の茎を残してそれ以外はすべて除去し、残した茎が風などで折れないように支柱を立てて管理すると、株の生存率は大幅に高まります。実のところ、次の年の春に新しい芽を出すのに必要な茎葉の本数は、株当たりたった4本！で十分であることがわかっています。

さて、ここで発想を変えてみましょう。つまり、ある時点で秋まで残す茎を一株あたり4本決めてしまい、それ以外に出てくる芽は30cmくらいに伸びるのを待ってすべて収穫してしまうのです。このように管理すると、アスパラガスは秋まで毎日新しい芽が出て、収穫を続けることができます。難点は、残した茎が風などで折れると一気に生育が悪くなることと、夏の間、水を十分かけないと、思ったように収量が上がらないことです。このため、夏秋どり栽培では、丈夫な支柱を立てて、残した茎が倒れないように保護するとともに、灌水施設を整えて、毎日水をかけることが必要です。置賜地域では、太陽電池の力をつかって灌水する新しい装置（拍動自動灌水装置）が普及しつつあり、これによって収穫量がこれまで以上に増えることが期待されています。また、ハウスを使ってより長期間収穫することも行われています。



【冬どり栽培 ～寒さを見方に～】

アスパラガスは、秋になると茎葉が枯れて収穫ができなくなります。アスパラガスには弱い自発休眠があるため、ある程度寒い温度を経過しないと温度をかけても萌芽してきません。このため、九州などの南国でも、12月から2月頃まではアスパラガスの出荷ができず、ほとんどが輸入品となってしまいます。

逆に、山形県のように秋が冷涼な地域では、萌芽するのに必要な低温は、12月頃までに当たってしまいます。後は、ハウス等で加温して温度を上げてやれば芽が伸びてきますので、国内ではもっとも早いタイミングで収穫することができるのです。

実際には、広い圃場を加温することは非効率的なので、茎葉が枯れあがった後、株を掘り上げ、ハウスの中に密集して伏せ込んでから加温します。こうして栽培した冬どりのアスパラガスは、きわめて糖度が高いのが特徴です。



「食の桃源郷おきたま 秋の大収穫祭」を開催します！



今年も「食の桃源郷おきたま 秋の大収穫祭」を開催します。
米沢牛をはじめ、置賜の秋の味覚が大集合しますので、ぜひ、これを機会に“置賜の食”をご堪能ください！

■開催日：10月12日（土）10：00～15：00（雨天決行）

■場 所：米沢市松川河川敷

■内 容：①おきたま食の応援団マルシェ
・米沢牛コーナー（チケット前売制）
・直売・飲食コーナー
②ステージイベント

☞チケットの購入等、詳細は、「おきたま食の応援団」のホームページをご覧ください。

9月～10月の食関連イベント情報

山形県

やまがたフラワーフェスティバル2013

県全域を対象としたフラワーフェスティバルが4年ぶりに置賜で開催されます。お花が好きな方のご来場をお待ちしています。

- 花き品評会（出品予定数約200点）
- フラワーアレンジメントデモンストレーション
- 子供と一緒に参加できる花育イベント など
- ◆日 時／10月19日（土）10：00～16：00
20日（日）9：00～11：00
- ◆場 所／アクティー米沢（米澤米まつりと併催）
- ◆問合せ先／置賜総合支庁農業振興課
TEL0238-26-6051

米沢市

第19回米沢市産業まつり

毎年恒例の「大テント市」をはじめ、子どもから大人まで楽しめるイベントや展示物が盛り沢山！

- ◆日 時／10月19日（土）、20日（日）
10：00～16：00（20日は15：00まで）
- ◆場 所／西條天満公園～平和通り商店街
- ◆問合せ先／米沢市商工観光課 TEL0238-22-5111

第26回米澤米まつり

- ◆日 時／10月19日（土）10：00～15：00
- ◆場 所／アクティー米沢（フラワーフェスティバルと併催）
- ◆問合せ先／米沢市農林課 TEL0238-22-5111

長井市

ながい1000人も煮会

米沢牛や地元の食材がふんだんに入った山形名物のいも煮をあやめ公園河川敷で味わえます。

- ◆日 時／9月23日（月）11：30～
- ◆場 所／あやめ公園河川敷
- ◆問合せ先／ながい1000人も煮会実行委員会
TEL0238-84-1785

もとまち青空フェスティバル

吹奏楽の演奏やフリーマーケット、地元産の野菜や名物を楽しむオープンカフェなどが開催されます！

- ◆日 時／10月6日（日）9：30～15：30頃まで
- ◆場 所／桑島記念館周辺
- ◆問合せ先／本町おおぞらフェスティバル事務局
TEL0238-88-2235

川西町

かわにし産業フェア2013

かわにしの食と技「農業・商業・工業が集う、匠のまつり」をテーマに川西町の魅力をお届けします。

- ダリヤ3000本を使ったダリヤカーペットを展示！
- ◆日 時／10月19日（土）10：00～15：00
- ◆場 所／川西町中央公民館及び駐車場
- ◆問合せ先／かわにし産業フェア実行委員会事務局
（川西町産業振興課内）TEL0238-42-6696

白鷹町

第37回白鷹鮎まつり

日本一規模のヤナ場で3日間にわたる「白鷹鮎まつり」が開催されます。

- ◆日 時／9月21日（土）～23日（月）10：00～17：00
- ◆場 所／道の駅白鷹ヤナ公園（メイン会場）
- ◆問合せ先／白鷹町観光協会 TEL0238-86-0086

白鷹町産業フェア2013～しらたかを味わう～

「しらたかを味わう」をテーマに、農畜産物の販売、加工食品展示・販売、グルメ対決（26日のみ）を行います。

- ◆日 時／10月26日（土）、27日（日）10：00～15：30
- ◆場 所／・JA山形おきたま白鷹グリーンセンター前会場（26日のみ）
・白鷹町文化交流センター「あゆむ」（26日、27日）
- ◆問い合わせ先／白鷹町商工会 TEL0238-85-0055

事業者会員および個人（メルマガ）会員を募集中です！

おきたま食の応援団は、置賜産農産物を地域全体で応援する取組を行っています。「おきたまの食」に関連する事業者など、応援団の趣旨に賛同していただける方をご紹介します。

また、個人（メルマガ）会員もあわせて募集中です。「おきたま食の応援団」のホームページから登録できますので、ぜひご登録ください！



《おきたま食の応援団事務局》

置賜総合支庁農業振興課生産流通担当
電話（0238）26-6051 FAX（0238）21-6941